

令和7年度【2025年度】

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-0603
施設名	日野わかば保育園
施設所在地	日野市程久保3-21-2
法人名	社会福祉法人わかば福祉会

1. 活動のテーマ

<テーマ>

「さつま芋畑を作って、植えて、育てて、食べよう」

<テーマの設定理由>

テーマに関する子どもの興味関心：当園の従来のさつま芋畑は園の外にあった為、5歳児は苗植えの経験は出来ていましたが、その後の育ちや除草、水やり等の体験が出来ないでいました。いつもの外遊びの園庭の横なら、育ちや育ての体験が出来るので小さくなりますが園庭に芋畑を作る事にしました。

園の特色：実体験を心がけ、乳幼児期の確かな実体験の基に就学に必要な生きる力をそだてている園です。多摩動物公園の南側の林と住宅の間にある良い自然環境と育児には職員・親・子の優しい心の実体験を大切にしています。

2. 活動スケジュール

4月職員プロジェクトチーム発足。4月中旬、計画作成・機材購入。5月3～5歳児に提案。5月中旬砂袋作りからの畑作り、枯れ葉集め、土入れ。6月苗植え。6月から観察と栽培。10月試し掘り、11月芋掘り・頂く。発展活動：11月5歳児は長い芋の蔓を丸めてリース、飾りつけてクリスマスリース。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

活動のためにどのような環境の設定：園児の遊びと運動を従来通り確保するために、使われていない斜面地を選びました。準備した素材：畑の土が入る場所作り；土のう袋、砂、防草シートと留め具、畑用の土、さつま芋の苗。道具；しゃべる（大小）、はさみ、金づち。発展した活動：クリスマスリース：材料；各種実、各種葉、テープ、ポスターカラー等。

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

3, 4, 5歳児に話しかけた所、園児は賛成し、畑作りは自由参加で行い、砂袋に砂を入れて、畑の廻りを囲んで、防草シートを敷いて、その中に土を入れました。皆で苗を植え。どんどん大きくなる葉や茎の生育を観察と除草ができました。秋に皆で芋ほりをして、園児は近くの林から焚き木を集め、職員が窯でお芋をゆでて、0歳児からみんなで美味しく頂きました。5歳児は長く伸びた芋の蔓を園庭に広げて、葉っぱを取りクリスマスのリースにして楽しみました。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

活動の内容：①畑づくり用の砂袋作り・畑作り ②苗植え・生育観察 ③除草 ④水やり
⑤芋ほり ⑥茹でる ⑦頂く ⑧芋蔓でリース作り

写真





①畑づくりの砂袋作りは、大きな砂の山から土嚢袋に砂を入れる地道な活動ですが、園児は大型砂遊びと思ったのかとても喜んで作り、10kgになった砂袋の10mの距離の運搬を一人頑張ったり、協力したりと発想が出た。②芋苗から大きな葉が出てぐんぐん大きくなる事を喜んでいた。③7月からは暑さ指数の関係で外遊びが出来ない日が続き、園児に水やりを体験させたかったが、職員が行った。④芋掘りはいつものように楽しみ、芋蔓を園庭に伸ばして長さに驚いていた。（畑の時は園児は蔓きり後の畑で芋掘りをしていた）⑤今までの芋ほりは掘った芋は家庭へのお土産と給食用にしていたが、今回からは量が減るので園で頂くことにした。園児は掘った芋との関連が分かり栽培を身近感じていた。